



JSCA千葉ニュース(夏)

発行 一般社団法人 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報・会員委員会)
〒260-0045 千葉市中央区弁天2-16-18 (有)市原建築構造設計事務所内 TEL043-225-2181 FAX043-252-6174

JSCA千葉 新代表のごあいさつ

(有)市原建築構造設計事務所 市原 嗣久



JSCA千葉 市原代表

このたび2018年5月31日の通常総会にてJSCA千葉の代表に就任いたしました。

JSCA千葉は、1997年初代飯島宏治氏に始まり故齋藤美佐男氏、園部隆夫氏、向後勝弘氏とつながり私で5代目となります。

さて、各代表の時も地震災害、姉齒問題等いろいろな出来事が

起こり、その度に対応に追われて来ましたが、構造設計者はここへ来て、また大きな変革の波にのまれようとしています。

私も、昭和54年に大学を卒業して構造設計事務所に入り、電卓で固定法やD値法による構造計算から始まりました。

この頃一般の個人が取り扱えるコンピューターは、マイコン(マイコンピューター)と言い、CPU(中央演算素子)は、8bitインテル 8080A 等のCPUにより、内部記憶容量は最大64kByte、記憶媒体はカセットテープでした。

大学や大企業に置いてあった、大きな空調設備が整っている部屋をあてがわれていた大型コンピューターでも、記憶容量1MByte(今のパソコンの1/10000程度)でした。

その後NEC PC9801(インテル8086 MS-DOS3.1)、NEC PC9801RA 32bit (ペンティアム MS-DOS 6.2)。

あっという間にIBM PC互換機が主流になり、Windows95 Windows7、Windows10 と計算機のシステムは向上してきました。

このように、コンピューターの発達はめざましくインテルの創始者の一人のムーアによると 集積回路(IC)の集積度が18ヶ月(1.5年)で 2倍、つまり性能が2倍となる法則が今まで成り立っていたといえます。

このことは、私が構造設計を初めてから 40年 $40/1.5=26.7$ 2の26.7乗は、1億倍。JSCA千葉が発足してから 20年 $20/1.5=13.3$ 2の13.3乗は、1万倍と言うように、パソコンの処理能力が向上して来た事となります。

今では、コンピューターにより将棋や囲碁までもが人間に勝利する様になり、自動車の自動運転も実用化が現実のものとなって来ています。

また、労働環境も変革の時期に来ており「働き方改革」も踏まえた働き方も必要となってきました。

これからも世の中はどんどん変わっていき、世の中から求められる構造設計者の立ち位置も多様化して行くことが考えられます。

今までも、構造設計者の乗り越え無くてはならない変革は新耐震設計法、耐震診断、構造計算適合性判定等数多く有りましたが、ここへ来てより大きな本質的な変革が押し寄せてようとしています。

これを乗り切るには、しっかりとしたベテラン技術者の技術力を基本とした若い構造技術者の仲間との自主的な自己啓発であると思います。

「本質的な技術を核として今の自分の立ち位置を確認し、今後世の中はどのように変わっていき、自分たちは何をしていけば世の中の要求に応えられるか」を各人が、仲間とわいわいやりながら求めていく事により何か見えてくると思います。

JSCA千葉全体としては、高齢化も進んで来ていますが、ベテラン技術者、賛助会員、若い技術者がつながりを持って多くの会員の協力により運営され、特に若い技術者が自主的に仲間と動ける仕組みを造って行きたいと思っています。

(編者註:新代表のごあいさつは市原新代表の原稿を尊重し、広報・会員委員会では、1億に対応し1万と表現しました。)

JSCA千葉 第21回 通常総会

JSCA千葉(広報・会員委員会)

【平成30年度通常総会】

平成30年5月31日(木)午後1時30分、三井ガーデンホテル千葉にて、JSCA千葉第21回通常総会が、楢山誠治氏の司会により開催され、議案も滞りなく承認され無事に閉会となった。ここで新代表及び、新役員も議案として承認された。

JSCA千葉 第21回 通常総会記念講演会

JSCA千葉(広報・会員委員会)

【JSCA千葉 第21回 通常総会記念講演会】

平成30年5月31日(木)午後3時より三井ガーデンホテル千葉にて、JSCA千葉第21回通常総会記念講演会が、開催されました。講演会はJSCA千葉 涌井副代表の司会により、JSCA千葉 市原代表の挨拶から始まりました。

【市原代表の挨拶】

今朝、千葉公園を散策したところ、大賀ハスの花を見ました。公園の木々も元気になってきたように感じます。

本日の記念講演は「中大規模木造建築物の構造設計」です。構造屋さんが不得意な木造の勉強をしましょう。

【佐藤副代表の講師紹介】

講師の稲山正弘先生は、東大大学院教授、中大規模プレカット技術協会(PWA)代表理事、ホルツストラ主宰です。

JSCA千葉
市原代表JSCA千葉
佐藤副代表

【講演会】

私は、1958年愛知県出身で1980から10年間ミサホームに勤務していました。昨年度の公共建築物の木造化率は10%程度です。設計事務所が木造に不慣れなためです。中大規模木造プレカット技術協会(以下PWA)は解決策として、コストの面では住宅用プレカットと金物で在来工法の設計。
 ・防耐火の法規制では、1000㎡で防火区画し設計する。
 ・大断面集成材ではなく在来軸組工法での一般的設計。
 ・木造軸組接合部標準図と特記仕様書で省力化。
 を提唱しています。これら資料は、PWAのホームページから無料でダウンロード出来ます。

これを実現するには、設計者にもプレカット屋さんにもツーバイフォー工法と在来工法を理解してもらうことが必要です。(PWAホームページ:<https://www.precut.jp/>)



講演会風景



講師 稲山正弘先生

屋根形状が勾配屋根で住宅の延長の場合には、JISトラスが利用出来ますが、ビルもので陸屋根の場合には平行弦トラスを利用します。PWAでは一般流通材を用い住宅用プレカット工場で加工可能なオープン工法として各地で、工務店やプレカット工場向けにトラス講習会を実施しています。

中大規模木造建築物の構造設計の手引(通称黒本)は、実務設計上必要な基礎知識や情報を取り入れ、金物主体の設計手法だけではなく、嵌合接合によるトラスやラーメン架構などの実例と接合ディテールや計算例まで掲載した、経済的な木造建築を実現する一助となるように出版しました。

黒本の中に例として上げている立体トラスは、仕口が難しく工事費が高額になる例です。

また、LVLやCLTを利用すれば、また工事費が上がります。

【園部監事の謝辞】

大変興味深い内容の講演会でした。2時間では足りず4時間位ほしい内容だったと思います。私個人としては後半の構造計算についてもお聞きしたかった内容でした。

木造建築物の普及は、JSCA本部の目標でもあります。



園部 監事



司会 涌井副代表

【涌井副代表の閉会の挨拶】

講演会は終了。引き続き懇親会で質問をお願いします。

JSCA千葉 第21回 通常総会懇親会

JSCA千葉(広報・会員委員会)

【司会および開会の挨拶】

司会は、栗田役員。市原代表の挨拶で始まりました。

【市原代表の挨拶】

皆様こんにちは。第21回通常総会懇親会にご出席頂き誠にありがとうございます。先ほどの通常総会で代表に選出されました、市原です。初代飯嶋氏、2代目齋藤氏、3代目園部氏、4代目向後氏に次いで、私で5代目です。

初代の飯嶋代表は、1998年より公共建物の耐震化に取り組む、誰もやったことのない事をやり遂げました。

2代目の齋藤代表の時には、姉歯事件を契機とした構造計算適合性判定制度が始まりました。

3代目の園部代表の時には、2011年東日本大震災でマグニチュード9という大規模地震を経験しました。

JSCA千葉は液状化に対し真っ先に行動しました。

4代目の向後代表の時には、2016年熊本地震で、震度7が連続2回という大地震を経験しました。

熊本地震では、周期が3秒という長周期地震への対応が必要であることも指摘されました。

今後20年経つとどうなるか？AIを利用したBIMへ、T定規からCADへ変遷したように、BIMへの対応が必要になります。これには若い技術者のパワーを取込みたいと思いネットワークが動き始めています。JSCA千葉はこのエネルギーの保持に努めたいと思います。

ご出席の各団体の皆様にも御協力お願い致します。

【来賓挨拶】

千葉県県土整備部都市整備局建築指導課 喜地課長
JSCA千葉総会おめでとうございます。これまでの協力御礼致します。耐震化への協力ありがとうございました。

千葉県は今後、耐震化と建築物の長寿命化に取り組めます。今年度は沿道建物の耐震改修をしたいのでJSCA千葉に協力頂きたい。長寿命化は、5年・10年の計画で進めたい。JSCA千葉会員と参加者のご健勝を祈念して挨拶と致します。

一般社団法人JSCA 一條副会長

総会と記念講演会おめでとうございます。

JSCA本部は30年です。構成は関東甲信越が全体の50%です。JSCA千葉には本部にも協力して欲しいと思います。2020年のオリンピック以降は、建築の量は減少傾向になると思います。

日本の構造設計者の数は一級建築士の内、構造設計一級建築士が1万人。JSCAの正会員は3900人、40%の組織率です。これを50%にしたい。JSCA千葉は、110人です。これも増やしたいと思います。

【来賓紹介】

司会の栗田役員が名簿により、ご出席の来賓を紹介。

【乾杯】

一般社団法人千葉県建築士会 竹江会長

本日は、総会おめでとうございます。市原JSCA千葉新代表、頑張ってください。向後様お疲れ様でした。

木造中大規模講習に出席し木造の良さを感じました。建築の既存建物調査の資格を取って、応急危険度判定が出来るようにしていきたいと思います。それでは乾杯。

【賛助会員紹介】

歓談が賑やかに始まり、(株)角藤 平瀬賛助会員の司会で賛助会員の紹介と各社営業担当の挨拶が始まりました。

午後7時よりライブ演奏開始。午後7時30分終了
宇宙を飛び廻る髭の吟詩人ハンク・マサ氏&エンジェルズ
第1部オペラに続き、第2部はカントリーミュージック10曲ほど
これは全員にCDが無料配布されたので、今後何度でもBGMとして仕事に聴くことが出来ます。

【閉会の挨拶】

JSCA千葉 佐藤副代表

総会で市原さんが新代表に決まりました。私もJSCA千葉には20年在籍しています。県の方々、各行政の方々、賛助会員、JSCA千葉会員の方々と協力し、いい会にしていきたいと思っております。締めとして、参加者の皆様のご健勝とご活躍を祈念して三本締めでこの会を閉めたいと思います。

JSCA千葉 新しく賛助会員 が参加してくれました

JSCA千葉(広報・会員委員会)

■ 賛助会員(年会費24,000円)

本協会の事業を賛助するために入会した者または団体という賛助会員制度があります。

今回、地盤改良の新技术「スクリー・プレス工法」の株式会社グランテックさんが賛助会員になりました。

広報・会員委員会では、早速広告の打診をしたところ、

快く応じて頂きました。

広報・会員委員会には、今年度の広告を集める事が予算案の収入予定に計上されています。

現在、賛助会員の各社も、出来ましたら御協力お願い致します。下記の枠で1万円です。

もう少し大きく紙面の1/3程度まで1万円で載せます。

先進の特許工法

地震に強く、低コスト、そして環境にも優しい。

地盤改良 新技術

環境に優しい地盤改良工法

液状化現象も強気に抑制

コンステックHDグループ

株式会社 グランテック

<http://www.grountec.net/>



スクリー・プレス工法

見えないところだからこそ、耐震・環境性能の安心が必要です。

これまでの地盤改良のお困りごとや心配ごとを「スクリー・プレス工法」が解消し、建物を支える確かな地盤をつくります。

地震に強く、低コスト、そして環境に優しい、地盤改良の新技術！

碎石を使った液状化対策工法は関東での施工実績を伸ばしています！

お気軽にご相談下さい。

地盤全体を締め固め地震動を吸収

天然碎石使用で家の資産価値を守ります



【南関東営業所】 千葉県千葉市中央区栄町 36-10 YS 千葉中央ビル 3-B

TEL (043) 307-3457 FAX (043) 307-3477 担当：鈴木 Email: suzuki@grountec.net

JSCA千葉新役員会組織一覧

代表役員	★ 担当役員	◎ 委員長			
代表 市原 嗣久	技術・研修委員会	専門委員会	総務・会計委員会	広報・会員委員会	若手研修WG
副代表 佐藤 暢彦	★ 涌井 栄治	★ 市原 嗣久	★ 佐藤 暢彦	★ 佐藤 暢彦	池田 格
副代表 涌井 栄治	◎ 西原 幹夫	◎ 飯島 宏治	◎ 筈谷 修作	◎ 西澤 博文	依田 実
監事 園部 隆夫	加藤 義道	木原 碩美	相山 誠治	高橋 悟	西原 幹夫
(監査) 向後 勝弘	長内 光雄	楠川 邦輔	榊原 裕繁	齋藤 利彦	向後 智弘
顧問 木原 碩美	貞弘 清英	向後 勝弘	安田 良一	遠竹二三夫	栗田 毅
顧問 飯島 宏治	池田 格	園部 隆夫	ホームページ委員会	栗田 毅	涌井 栄治
			★ 佐藤 暢彦		
			◎ 貞弘 清英		
			加藤 義道		

編集後記

今号の編集集中に、ハンク・マサこと真崎雄一氏の訃報が届きました。今号の記事の中には、第21回総会懇親会ライブがあります。故人のご冥福を祈り記事は残します。

JSCA千葉役員会組織一覧は現段階で真崎氏の後任が決まっていないため、空欄としています。

また今号は、8月の夏号として発行予定でしたのでこのまま発行させていただきます。

平成30年4月24日(火)岡部株式会社茨城工場の見学会があり記事の提供もありましたが次号以降に掲載させていただきます。